



まばゆい光のプレゼント

12/11 県立こども病院イルミネーション点灯式

市内でイルミネーションを行っている市民ボランティア・Azumino. 光のページェント実行委員会（小林一男委員長）では、入院している子どもたちにイルミネーションを楽しんでもらおうと、豊科の県立こども病院（原田順和院長）の中庭に飾り付けを行いました。

点灯式が12月11日に行われ、子どもたちや病院関係者が見守る中、点灯されると驚きの声が上がりました。入院している黒沢紘くん（4歳）は「ハートがキラキラしてとてもきれいです」と色とりどりに輝く光を喜んでいました。



安心して新年を迎えるために

12/25 市消防団年末警戒激励

市消防団（寺畑佳司団長）は、年末警戒を12月25日から30日まで行い、各分団が管轄管内を巡回し警戒にあたりました。初日の25日には、豊科ふれあいホール（豊科）で激励会が行われ、宮澤市長、消防・警察関係者が団員約220人を激励しました。宮澤市長は「市民が安心して新年を迎えられるよう警戒をお願いしたい」と団員を励ました。

出来たての味を親子で楽しむ

12/20 南穂高児童館お餅つき大会

親子対象の餅つき大会が12月20日、豊科南穂高の南穂高児童館で行われました。この日は30組の親子や地区の民生児童委員など約80人が参加。昔ながらのきねと臼を使い「ヨイショ」の掛け声に合わせて参加者は交代しながら餅つきをしました。

参加者は、つき上がった餅にゴマやきな粉をまぶし、味わいました。

参加した唐澤彩夏ちゃん（豊科）は「きねでお餅をつくのが楽しかったです。出来上がったお餅はとてもおいしいです」と話してくれました。



冬を彩る 美しき音色

12/21 みらいのクリスマスコンサート

穂高交流学习センター「みらい」のクリスマスコンサートが12月21日、同施設多目的交流ホールで開催されました。

この日は、昨年7月に行われた「第4回あづみの新進音楽家演奏会」で高い評価を得て選考された、県内出身の若手音楽家の皆さんが出演。「アメイジング・グレイス」「雪のふるまちを」など国内外の名曲が演奏されました。

母親と訪れた八子遥さん（松本市）は「ピアノの音色が好きで教室に通っています。今日はいろいろな曲が聴けてうれしいです」と話していました。

アンコールでは、出演者と一緒に約180人の観客が「ふるさと」を合唱。優しく温かな音色が会場を包み込んでいました。

【出演した皆さん（敬称略）】

ソプラノ独唱 山本知佳 ピアノ奏者 寺島美紀 ピアノ連弾 アンサンブル Le Risa “レ・リーサ”（中村倫子、金井美穂） グラスハーモニカ 関根康行



安曇野の旬の食材が満載

12/18 あづみの華御膳が完成

おいしい信州ふーど（風土）松本地域活動協議会（板花守夫会長）では、季節ごとの旬の安曇野の食材を使った弁当「あづみの華御膳」を開発し12月18日、市本庁舎で宮澤市長に報告しました。調味料以外はすべて安曇野産にこだわり、信州サーモンの手まり寿司や牧大根など地物野菜の漬物、ニジマスの円揚げなど9種類が入った弁当になっています。板花会長は「多くの人に楽しんでもらい、安曇野の食材の販路拡大にもつながれば」と期待を寄せました。この弁当は、12月28日から松本市内の百貨店で限定販売を始め、今後、市内でも販売する予定です。



山の魅力を全国へ発信

12/17 山岳観光推進実行委員会設立総会

県の「信州山の日」や国民の祝日「山の日」の制定に合わせ、市の山岳観光振興を一層進めて行こうと、「市山岳観光推進実行委員会」の設立総会が12月17日、穂高支所で開かれました。当日は、市内の山小屋経営者や観光関係者など約20人が出席。実行委員長に選ばれた赤沼健至さん（燕山荘社長）は「山岳と平地の垣根を越え、安曇野の魅力を発信したい」とあいさつしました。今後、同実行委員会では、首都圏などの登山愛好家へ向けた情報発信や登山と地元の宿泊施設、観光資源を組み合わせた旅行商品の開発などを行っていく予定です。